

数学科の学習

毎日の生活の中で数学が使われている場面はたくさんあります。知らずに過ごしていることが多いのです。数学の授業の中でたくさんの「そうだったのかあ！」を発見して下さい。

数学で身につけたい力は

- 1 「〇〇〇なので～～である。」「☆☆☆になると思う。なぜなら△△△だから。」のように筋道を立てて考える力
- 2 公式などのルールにのっとり答えを求めたり、計算したりする力
- 3 グラフやデータなどの情報を整理し、分析する力

などです。数学という学問だけでなく、他の色々な能力になっていく教科です。生活の中でそれらを活用する良さを実感し、考える力や計算する力などを伸ばしていきましょう。

1 授業では

- (1) 学習課題に興味を持ち、何を答えれば良いのか、何ができれば良いのか、ゴールを見つけて取り組みましょう。
- (2) 教室では仲間とともに学んでいます。自分とは異なった考えを聞いたり、説明して教えたりして、互いに力を伸ばしていきましょう。
- (3) 例題は手本のようなものです。手順を守り、手本と同じように解いてみましょう。その後、自分だけの力で同じようにして問題を解決できる力を付けましょう。



2 家庭学習では

- (1) 授業で学んだ事を、ワークなどを使って復習しましょう。繰り返しが学習の基本です。
- (2) 宿題は計画的に進め、期限を守って提出しましょう。
- (3) 間違いを大切にしましょう。間違えた問題ができるようになることが大切です。「どこで間違えたのか。」「どのようにするのが正しいのか。」を理解し、「自分一人で解けるかな？」を確認しましょう。
- (4) 自分で取り組んでわからない問題は先生や友人に聞きましょう。聞かれた人も勉強になります。

3 授業で準備するもの（すべてのものに記名を忘れずに）

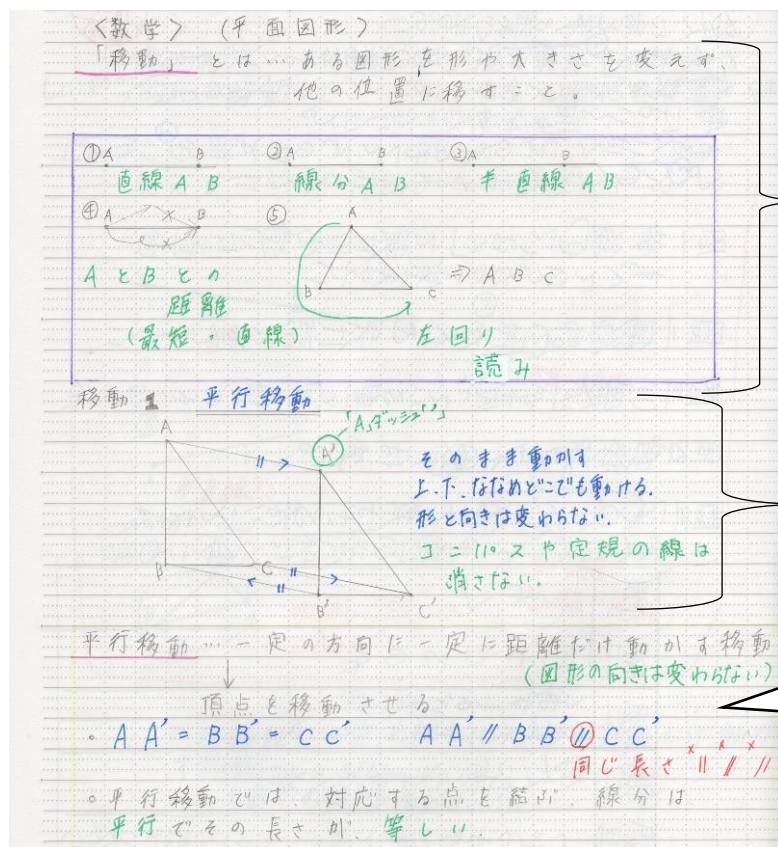
- ・教科書 ・ノート（ファイル） ・ワーク
- ・コンパス ・定規 ・分度器

4 評価（成績のつけ方）について

- ①定期テスト ②授業での活動（ノートや発言、意見の内容など）
 - ③課題への取り組み ④提出物 ⑤振り返りレポート ⑥小テスト
- などを総合的に判断して評価します。



〈まとめノートの作り方〉



まずは、数学にかかわる用語や記号をしっかりと覚える。その意味や使い方を自分なりに覚えやすい方法で理解すること。

実際に自分で解けるか、具体的な問題に取り組んでみる。何もみないで自力で書けるか、解けるか、が重要になります。



問題を解く上で大切な式や用語をそのつどまとめていく。また、実際に自分で解いている中で、注意したいことや間違いやすいポイントはメモしてしっかりと覚える。

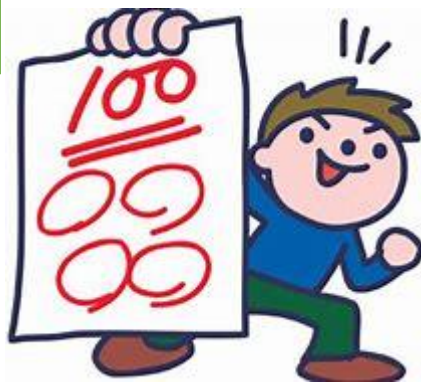
- 重点ポイント
- *途中の計算は必ずいねいに書くこと。
 - *何も見ずに自力で解けるかやってみること。
 - *わからない問題は必ず誰かに解説してもらい、理解すること。

先輩の声

計算の途中式を省略せず、しっかりと書くことでケアレスミスが減っています。「=」の記号などしっかりと書くことが大切だよ！

解答の使い方を覚えることが大切だと思います。なぜ間違えたのか、どこを間違えたのか、を理解することで同じミスをなくせます。

問題をしっかりと読むこと。必要なら図形もかいてみた方が良いでしょう。必要な数値を読み取り、求めているものが何かをとらえて解いていくことが大切です。



まず、公式など覚えるべきことをしっかりと覚えます。あとはその公式使い方を学び、数値などを当てはめていけば正解までたどりつけます。

わからない問題は、友だちや先生に聞いてその考え方を勉強して下さい。わからないままでも点数は伸びません。

ワークは間違った問題を中心に解き直しています。何回もやり直すことで問題の解き方が身につきます。